

太陽の**熱**から

頭を守る!

防水/通気/遮熱

熱ボウシ

熱防止シートで
熱中症対策に!

かわいい「四つ葉[☘]」のシートを帽子・ヘルメットの
中に入れるだけで、太陽の輻射熱を防止します。

特許出願済



熱移動には、「対流熱」「伝導熱」「輻射熱」の3種類があり、「輻射熱」が建物全体の移動熱量を約70%を占めています。

暑さ対策を考えるなら、**輻射熱を阻止**することが最も効果的です！

遮熱と断熱の違い

断熱材



断熱材は、熱の伝わりを遅らせます。夏場の室内が断熱材を入れても暑いのは、時間をかけてゆっくりと熱が室内に入り、蓄熱効果で熱を保持しているからです。

遮熱材



遮熱材は、断熱材よりも薄く(シート状)、表面のアルミ箔によって輻射熱を反射(遮断)します。夏は外部からの暑い熱を反射(遮断)し、室内を快適に保ちます。

透湿防水遮熱シート「熱ボウシ」の特徴

- 熱ボウシは純度の高いアルミニウムと透湿防水シートの構成により、透湿防水性能を保持した**高反射遮熱材**です。
- 熱ボウシ1枚で**防水、通気、遮熱**を可能にします。
- 帽子・ヘルメット内部は、**通気性が良い**ので快適です。

JIS A6111 適合

透湿防水シートの性能		JIS A6111 : 2004	熱ボウシ	
			縦	横
性能項目	評価項目	寒冷地向け	寒冷地向け	
透湿性	($m^2 \cdot s \cdot Pa / \mu g$)	0.13以下	0.125以下	
結露防止性		高温室(20℃ 60%)	結露が生じなかった	
		低温室(-5℃)の境		
		界壁にも結露が生じない		
強度	引張強さ(N)	縦・横とも100以上	1300以上	1100以上
	つづり強さ(N)	縦・横とも27以上	90以上	95以上
発火性		発火しない	発火は認められなかった	
防水性	水圧(Pa)	10以上	40以上	
	水圧(Pa)	8以上	22以上	
耐久性	引張強度残存率(%)	縦・横ともに初期値残存50%以上	71.4	80.4
	引張伸度残存率(%)	表示する	3	3
熱収縮率	収縮率(%)	1.5以下	0.0	
防風性(通過時間)	(s)	10以上	160以上	

透湿防水遮熱シート

熱ボウシとは

放射熱を
反射率
98%の
遮熱材で反射!

帽子

帽子に吸収された放射熱
帽子に吸収された熱を外に放出します。

帽子を透過した放射熱
帽子を透過した熱も外に放出します。



ヘルメット

一次放射熱
一部反射されるが大半は二次放射熱へ

二次放射熱
暑さの一番の要因!

ヘッドバンド

熱ボウシ

- 上部(グレーの部分)
反射率98%の反射材
- 下部(黄色の部分)
透湿防水樹脂



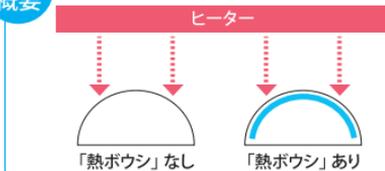
「熱ボウシ」は、ヘルメットの中で外側に反射面を、頭部側に透湿防水シートを向けて使用します。太陽からの放射熱はヘルメットの素地に吸収されますが、暑さの一番の要因となる二次放射熱を反射率98%の「熱ボウシ」が阻止して屋外に放出します。一方、帽子の場合は帽子の素地を透過した放射熱も、反射率98%の「熱ボウシ」が反射して大気に放出しますので、頭部に伝達される熱量は大幅に低下します。さらに、帽子を透過して頭部に照射される紫外線も98%カットしますので、皮膚の弱いお子様にも安心してご使用になれます。

また、「熱ボウシ」を取り付けたヘルメット・帽子は、通気性も良いのでとても快適です。

遠赤外線 ヒーターによる実験

遮熱シート「熱ボウシ」を付けたものと付けていないものを比較した実験です。温度差と効果に大きな結果がでました。

実験概要



帽子 内側の測定

ヘルメット 内側の測定



「熱ボウシ」ありとなして

最大温度差

約21°C!

なしの場合
帽子内側温度

約62°C!

ありの場合
帽子内側温度

約41°C!

「熱ボウシ」ありとなして

最大温度差

約31°C!

なしの場合
ヘルメット内側温度

約71°C!

ありの場合
ヘルメット内側温度

約40°C!

製品の特徴

- **反射率98%の遮熱材で輻射熱をカット!**暑さの最大の要因である輻射熱を98%カットして、暑さを和らげます。
- **紫外線も98%カット!**紫外線の98%を反射しますので、皮膚の弱い子供さんの頭部を守ります。
- 帽子に押し込むだけの**ワンタッチ取り付け&取り外し**。
ヘルメットの場合は、市販の両面テープで固定してください。
- 汗や埃が気になったら、**水拭きができるのでとても衛生的**。
- 折り畳むとポケットにスッポリ収まり、持ち運びが楽です。

取り付け方

※ご使用の帽子により形状は異なります。

帽子の場合

1



帽子と熱ボウシを用意します。

2



熱ボウシの金属面を帽子側に押し込めば取付完了です。



オートバイのヘルメットにもご利用可能です。

ヘルメットの場合

1



ヘルメットと熱ボウシを用意します。

2



ヘルメットのヘッドバンドを取り外し、両面テープでヘッドバンドに固定します。

3



熱ボウシを接着したヘッドバンドを帽体に差し込んで取付完了です。

仕様

商品名：熱ボウシ

型式：AMS-3285

サイズ：厚さ0.4mm×縦24cm×横24cm

形状：四つ葉型

材質：アルミニウム、透湿防水シート

※品質向上のため、一部素材・色・デザインを変更する場合があります。

※透湿防水シート部分に青い線が入っている場合がありますが、品質に問題はありません。

取り扱い時の注意点

- 熱ボウシは**金属が使用されています**ので、手を切らないように気を付けてお取り扱い下さい。
- 寸法が合わない場合は、ハサミやカッターで切ってご使用ください。
- 汗や埃で汚れた時は、スポンジ等を使用し中性洗剤等で水拭きする事ができます。この時、アルミニウムの表面を強く擦ったり、折り曲げたりしないで下さい。また、洗濯機等を使用して洗わないで下さい。乾燥は、天日干しかドライヤー等で行い、電子レンジ等には入れないで下さい。
- 金属アレルギーのある方は、医師にご相談下さい。

販売代理店

株式会社カイレン・テクノ・ブリッジ

〒359-1115 埼玉県所沢市御幸町11-1 豊栄ビル

電話(代表)04-2929-6296

熱ボウシの紹介ページです。➡



製造元：AMS Co., Ltd.